

# CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島（2010年ver.1）

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配慮項目	評価点	重み係数	内訳										
<b>■1.「地球温暖化対策」の推進</b>													
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>													
(コメント) 省エネルギー事項を簡潔に記載してください 窓面積比率を小さくし、外壁断熱材を多用することで空調の負荷を低減。	3.0	0.15	Q1 室内環境	2 温熱環境	2.1 室温制御	3 外皮性能							
	0.0	0.00											
	4.0	0.85	LRI エネルギー	1 建物の熱負荷抑制									
小計	3.9	0.17											
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>													
(コメント) 省エネルギー事項を簡潔に記載してください 空調に空冷ヒートポンプパッケージを採用。主としてLED照明を採用した。	3.0	0.50	LRI エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.1 自然エネルギーの直接利用								
	3.0	0.50	LRI エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.2 自然エネルギーの変換利用								
小計	3.0	0.11											
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>													
(コメント) 省エネルギー事項を簡潔に記載してください。 空調に空冷ヒートポンプパッケージを採用。主としてLED照明を採用した。	5.0	1.00	LRI エネルギー	3 設備システムの高効率化									
小計	5.0	0.17											
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>													
(コメント) 省エネルギー事項を簡潔に記載してください。 運用管理の組織化を図っている。	3.0	0.50	LRI エネルギー	4 効率的運用	4.1 モニタリング								
	3.0	0.50	LRI エネルギー	4 効率的運用	4.2 運用管理体制								
小計	3.0	0.11											
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>													
(コメント) 省エネルギー事項を簡潔に記載してください。 リサイクル材を積極的に使用した他、節水型器具を採用している。	4.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水								
	3.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	1 雨水利用システム導入の有無							
	3.0	0.04	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	2 雜排水再利システム導入の有無							
	2.0	0.06	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減								
	3.0	0.19	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 廃存建築躯体等の継続使用								
	3.0	0.16	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 部材材料におけるリサイクル材の使用								
	5.0	0.16	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用								
	2.0	0.04	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材								
	5.0	0.19	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み								
小計	3.7	0.31											
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>													
(コメント) 省エネルギー事項を簡潔に記載してください。 設備機器の効率化、建物の高断熱性能、環境負荷の低い資材の活用等の総合的な取り組みでCO2削減を目指した。	5.0	1.00	LRI 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮									
小計	5.0	0.13											
<b>1.「地球温暖化対策」の推進の評価</b>													
	4.0	0.71											
<b>■2.「ヒートアイランド対策」の推進</b>													
<b>2.1 温熱環境の向上</b>													
(コメント) 省エネルギー事項を簡潔に記載してください。 外構の緑化と庭園の透水性舗装や庇の設置、高木の植栽等により、環境の向上に努めた。	3.0	0.49	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出									
	4.0	0.25	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上								
	4.0	0.26	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善								
小計	3.5	0.96											
<b>2.2 交通負荷抑制</b>													
(コメント) 省エネルギー事項を簡潔に記載してください。 敷地東側に、建物利用者以外も利用可能な駐車場を設置することにより、地域の駐車スペース増加と建物周辺の渋滞緩和に寄与する。	5.0	1.00	LRI 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制							
小計	5.0	0.04											
<b>2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>													
	3.6	0.19											
<b>■3.「長寿命化対策」の推進</b>													
<b>3.1 耐用性の向上</b>													
(コメント) 省エネルギー事項を簡潔に記載してください。 設備機器及び配管は耐用年数の高い材料を使用。特に配管は40年以上のものを採用した。	3.0	0.47	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	1 耐震性							
	3.0	0.12	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	2 先進・制振性能							
	3.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 部材材料の耐用年数							
	2.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔							
	3.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							
	3.0	0.03	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔							
	5.0	0.06	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔							
	3.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔							
小計	3.0	0.70											
<b>3.2 設備の更新性</b>													
(コメント) 省エネルギー事項を簡潔に記載してください。 将来の設備機材、配管の更新は構造部材を痛めることなく更新、修繕が可能。	3.0	0.17	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性							
	3.0	0.17	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給水配管の更新性							
	3.0	0.11	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性							
	5.0	0.11	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性							
	3.0	0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性							
	4.0	0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペース							
小計	3.4	0.30											
<b>3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>													
	3.2	0.10											
<b>■重点項目の総平均(上記3項目)</b>													
	3.8												